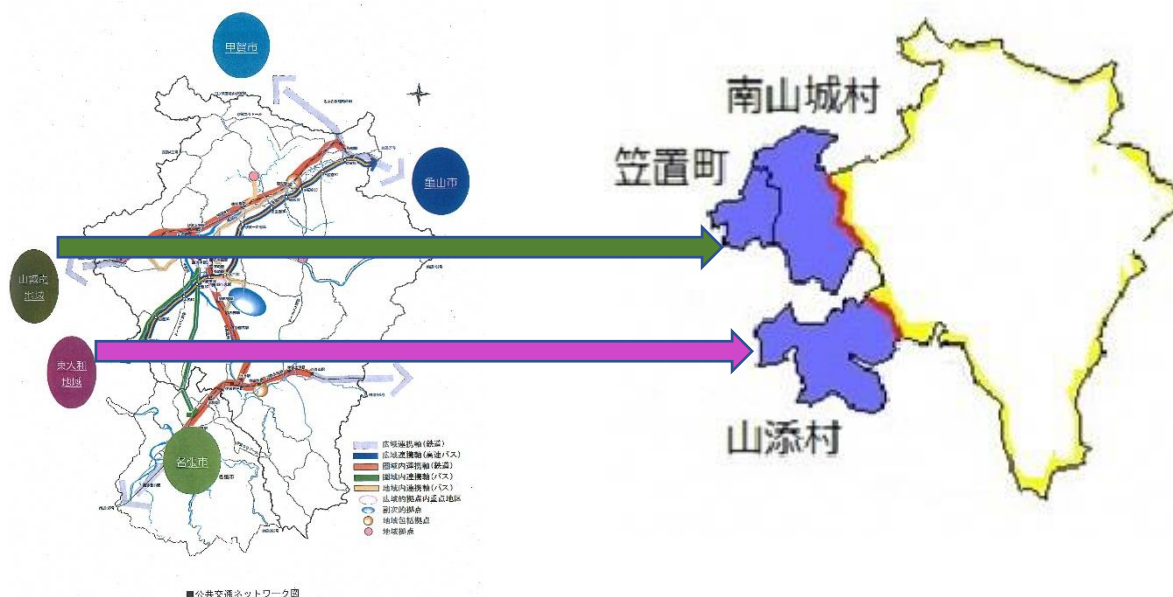


伊賀市マスタープラン（たたき台案）に関する意見（抜粋）

（森本委員）

1. 伊賀・山城南・東大和定住自立圏の構成町村である笠置町・南山城村・山添村を地図で図示してはいかがでしょうか。

※イメージ



2. 上野中心広域的拠点のまちづくりの「③産業を創造する観光資源を活用した知的対流拠点づくり」の活動主体の一員として、南山城村から体験観光づくりの団体や、道の駅運営主体なども参画して、伊賀市の西部（小田あたりから笠置エリア）の連携を強化した観光産業等の創出をはかる。

（窪田委員）

1. 上野の城下町ならではの街並みはとても魅力的でそういう建物が残っているということはそれ自体が観光資産であり、市の資産だと思います。街中を歩くと小さい商店がいくつかあり、少し勇気を出してお店に入ると、それぞれの専門店で食材が買えたり、食事をする場所、テイクアウト出来るお店など徒歩圏内に揃っていてとても楽しい。街中に住むのは付き合いが大変と思う方が多いようですが、入ってしまうとそれなりに楽しい。最近は新しいお店、移住者の方も増えてきたので嬉しく思います。

一方では趣のある建物が次々に壊されてしまったり、放置されている状況はとても残念に思います。街中に素敵な場所が増えればそれ自体が一つの魅力となり、大きくみるとモールに行くように色々と楽しめる場所になります。

家を建てる際には景観条例（伊賀市ふるさと風景づくり条例）を考慮して建てて下さいと言われるようですが、そうではない住宅もどんどんと増えています。観光資源となる地域には街並みに合った建物があつた方がいいと強く感じます。ですので、共有駐車場やポケットパーク、合併浄化槽の施策はとても良い案だと思います。街並みを残したり、守ることは市の資源になるので、景観条例を守って建てる建物や修繕する場合には補助金などの案も有効かと思います。

交通の安全については確かに高齢者の方も多く危険に感じる場所も多いので、視界を見やすくするなどの対策は必要かと思います。ただ城下町なので難しい部分もあると思います。

（平井委員）

1. 22 ページの広域的医療福祉区域は中核病院を想定していますか
→本計画の役割ではないでしょうが、今後の高齢化や医療の高度化を想定すると中核病院が必要ではないでしょうか。
2. 社会福祉協議会としても地域支援の拠点配置について検討中です。交通手段が乏しい状況であることから、訪問(アウトリーチ)の充実を中心とした相談支援体制を予定しており、移動相談車などのアイデアもあります。市の委託事業として39の住民自治協議会を単位として13名の地域福祉コーディネーターを配置しており、その機能を一層強化する方針です。ただ、活動拠点をどうするかについて課題があり、本計画を参考としたいと思います。皆様のご意見をお聞かせ下さい。
3. 安心居住については、愛知たいようの杜の多世代共同住宅「ぼちぼち長屋」の取り組みが参考になります。今後老朽アパートの改築に際して、この観点を加えていくと良いと思います。

（南委員）

- ・ 中心市街地推進課

①交通体系の整理の中で、一方通行（農人町～岡三証券まで）の標識の整備（観光客等が逆走している）

②カラー舗装の方法の検討

③城下町らしい町並みづくりと近代的建物との融合

・総合危機管理課

①川上ダムは治水利水が目的であるので、完成すれば下流の浸水想定区域はハザードエリアは変わってくると思うが、名張市上流にある、宇陀川水系室生ダムの放流も加味しなければならないと思う。

②ハザードマップは各河川の水位票が設置されているが固定設置され点検は定期的の実施しているのか。（倒れていたら意味がない）

・企業用地整備課

①ゆめテクノ伊賀は全国 11 番目で新都市事業として立地したが、大学誘致は伊賀の特色を生かしたものは立地できないのか。

②ビジネスホテル等も立地できないのか（伊賀は規制が多いので立地は難しいと聞いている。）

・道路河川課

①道路舗装方法の検討（特にカラー舗装化のところ含む）

②市街地商店街のところの路肩部分の活用（テラス設置）

・交通政策課

①市内各所の信号で停滞箇所の解消

②伊賀線の踏切が各所にあるが災害時（停電時）に遮断したままでは緊急車両が通れないので対処

③岡波病院は現在新築中であるが、市街地からよく見えないが、進入道路、看板等の案内標識を設置する予定であるのか。